

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	国連廃棄物リサイクル会議開催経費		担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	循環型社会推進室		室長 中尾 豊			
会計区分	一般会計		施策名	4-1 国内及び国際的な循環型社会の構築					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	循環型社会形成推進基本法(平成十二年六月二日法律第百十号)第三十一条・・・『国際的協調のための措置』		関係する計画、通知等	循環型社会形成推進基本計画第5章『国の取組』第3節『海外との関係における資源循環』、3Rイニシアティブ					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「アジェンダ21」や「持続可能な開発に関する世界首脳会議実施計画(JPOI)」に掲げられた取組の実施状況は、国連持続可能な開発委員会(CSD)において毎年レビューされている。我が国はこのCSDプロセスに積極的に参加することにより、3Rの世界的な推進を図り、第19回CSD会合へ世界の幅広い廃棄物関係者の意見、意志をインプットする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国連経済社会局(UNDESA)と協力して「国連持続可能な廃棄物管理会議」を国内で開催する。会合の成果を2011年5月に開催される第19回CSD会合にインプットする。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	—	—	40				
		補正予算	—	—	0				
		繰越し等	—	—	0				
		計	—	—	40				
	執行額		—	—	47.6				
	執行率(%)		—	—	119%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	世界規模での適正な廃棄物管理及び循環型社会の構築や3Rの世界的な推進に貢献することを目的とし、会議の成果である議長サマリーを、第19回CSD会合にインプットするため、定量的な成果目標の設定が困難である。			成果実績					
				達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	「国連持続可能な廃棄物管理会議」の開催			活動実績 (当初見込み)	回	—	—	1	—
						—	—	1	()
単位当たり コスト	(47.6百万円/回)			算出根拠	執行額/会議開催回数				
平成23・24年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
		0	0	H22年度限りの事業					
	計	0	0						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>請負業者選定については、一般競争入札を行った。 また、会議の成果を「議長サマリー」としてとりまとめることができ、さらにこの「議長サマリー」を国連持続可能開発委員会第19会期（GSD-19）へインプットすることができた。このことは日本の主導による会議の実施により、GSDプロセスへ貢献し、適正な廃棄物管理及び循環型社会の構築や3Rの世界的な推進に寄与できたと言える。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	<p>国連持続可能開発委員会第19会期（GSD-19）へインプットするという所期の目標が達成されたため、廃止。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
<p>平成22年度限りで廃止とする。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

環境省
47.6
百万円

【一般競争入

A. (株)ダブリュファイブ・スタッフサービ
ス
47.6百万円

国連持続可能な廃棄物管理会議に係る
開催準備及び運営支援経費

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)(単
位:百万円)

A.(株)ダブリュファイブ・スタッフサービス			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	国連持続可能な廃棄物管理会議に係る開催準備及び運営支援業務	47.6			
	内訳				
人件費	業務責任者、運営スタッフ、通訳等	2.2			
航空券代等	招待国航空券代、宿泊代	21.9			
日当・謝金	講師日当、講師謝金	2.3			
案内板等	案内板、IDカード・卓上プレート等	1.3			
配付資料等	会議資料ファイル代、印刷製本費等	0.6			
企業展示	企業展示ブース借り上げ料等	0.2			
成果物	報告書印刷製本費等	0.2	計		0
会場費	会場借上、屋食代、レセプション費等	13.6	F.		
一般管理費		3.0	費目	使 途	金 額 (百万円)
消費税及び地方消費税		2.3			
計		47.6			
B.					
費目	使 途	金 額 (百万円)			
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ダブルユファイブ・ス タッフサービス	国連持続可能な廃棄物管理会議に係る開催準備及び運営支援事業	47.6	11	79%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					